



学院史編纂室便り

NO. 39 (2014.6.2)
関西学院 学院史編纂室

★『関西学院史紀要』第 20 号の発行

3月25日に『関西学院史紀要』第20号を発行しました。当紀要は「関西学院リポジトリ」に登録されていますが、印刷物をご希望の場合は学院史編纂室までご連絡ください(創刊号、2号、12号、13号、15号は在庫なし)。

【論 文】	本間一夫の生涯と事業	室田 保夫
	「関西学院」の命名とその音声	池田 信
	W. R. ランバスにおける宣教思想の一考察—特に、朝鮮認識を中心に—	洪 珉基
【記 録】	第38回 関西学院史研究会 関西学院の美術	東浦 哲也
	第39回 関西学院史研究会 関西学院と『讚美歌』—由木康を中心に—	北村 宗次
【資 料】	村上博輔日記抄(13)	
【学院史編纂室共同研究報告】		神田 健次

★Voices from the Past to the Future : Recollecting the History of Kwansei Gakuin, 1889-1940 の発行

C. J. L. ベーツ第4代院長の50回目の命日(12月23日)に、博物館開設準備室(4月より大学博物館)から標記冊子が発行されました。昨年夏、小磯記念美術館で開催された特別展「関西学院の美術家～知られざる神戸モダニズム～」の展示図録(同館にて引き続き販売中 ☎078-857-5880)に掲載された「過去から未来への記憶～関西学院の変遷を辿る(1889-1940)～」の英語版です。同図録未掲載の原稿も追加されました。また、昨秋、同窓会が行った「創業者 W. R. ランバス博士の足跡を巡る旅～アメリカ南部編～」の訪問先の一つミルサプス大学で目にした神戸時代のランバス一家の写真(1890年の撮影と推測される)も、同大学のご好意により新冊子にて紹介しています。



★New World Outlook 誌への記事掲載

アメリカの合同メソジスト教会発行の *New World Outlook* 誌 3/4 月号にルース・グルーベル院長が執筆された”DISCOVERING the “TIES THAT BIND””が4頁にわたって掲載され、前述の同窓会主催ツアーのことが紹介されました。グルーベル院長の名文だけでなく、ツアー参加者が苦労して英語で書いた感想文も掲載されています。美しい西宮上ヶ原キャンパスと初等部の子どもたちの写真も紹介されました。

★ニュートン院長の遺品到着



大学博物館では、開館に向け展示等の準備が進んでいます。展示品として、J. C. C. ニュートン第3代院長の遺品をお借りしたいとノースカロライナ州在住のご曾孫エモリー・アンダーウッドさんにお問い合わせしたところ、快くご協力くださいました。3月28日、遺品(ファミリー・バイブル、写真アルバム、藍綬褒章)が関西学院に無事到着しました。写真アルバムは、七宝焼きの孔雀と共に、1923年3月23日に卒業生有志89名から贈られた退職記念の品です。孔雀の置物は、写真のように見事なものです。が、繊細な作りのため借用は断念しました。

★関西学院創立 125 周年・絵画部弦月会創立 100 周年記念展にベーツ院長の水彩画を出品

9月18日から28日まで兵庫県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」で開催される標記展覧会(開館:10～18時。22日休館)に、C. J. L. ベーツ第4代院長が描いた水彩画(学院史編纂室蔵)が展示されます。絵(油彩・水彩)を描くことを趣味にしていた同院長は、在職中、弦月会の展覧会に出品していたと伝えられています。今回展示される水彩画は、2009年に曾孫のスコット・ベーツさんからご寄贈いただいた作品【右はその一部】の中から選ばれます。

